



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 加藤製作所

コード番号 6390 URL <http://www.kato-works.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 公康

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 高橋 啓二

TEL 03-3458-1130

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	12,194	9.3	△130	—	△248	—	△186	—
24年3月期第1四半期	11,156	7.9	305	—	317	—	259	182.2

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △484百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 162百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△3.18	—
24年3月期第1四半期	4.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	83,938	32,169	38.3
24年3月期	86,176	32,947	38.2

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 32,169百万円 24年3月期 32,947百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	3.00	—	5.00	8.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	4.50	—	4.50	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	30,000	19.0	1,800	44.9	1,800	49.0	1,100	28.8	18.77
通期	67,000	16.3	4,100	28.8	4,100	23.1	2,700	2.2	46.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	58,717,936 株	24年3月期	58,717,936 株
25年3月期1Q	108,585 株	24年3月期	108,585 株
25年3月期1Q	58,609,351 株	24年3月期1Q	58,611,902 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、震災からの復興需要を下支えに、緩やかな回復基調となりましたが、欧州経済への不信感や、新興国経済の停滞、円高の定着など、先の見通しにくい不透明な状況にて推移いたしました。

当社グループの事業環境は、国内においては復興需要の後押しもあり、堅調に推移いたしましたものの、中国をはじめ、その他の海外地域においては、引き続き厳しい状況となりました。当社グループといたしましては、積極的な営業活動に邁進いたしました。当第1四半期においては、主力となる大型オールテレーンクレーンの需要を取り込めず、小型建設機械に集中いたしましたことから業績面におきましては不本意な結果となりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は121億9千4百万円（前年同期比109.3%）となり、収益につきましては、営業損失1億3千万円（前年同期は3億5百万円の利益）、経常損失2億4千8百万円（前年同期は3億1千7百万円の利益）、四半期純損失は1億8千6百万円（前年同期は2億5千9百万円の利益）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 日本

日本では、東日本大震災後の復興需要もあり、建設用クレーンおよび油圧ショベルの需要は東日本を中心に増加いたしましたものの、主力となる大型クレーンの需要が予想を下回り、厳しい結果となりました。売上高は101億7千2百万円（前年同期比109.4%）となり、セグメント損失（営業損失）は4億9百万円（前年同期は1億9千2百万円の損失）となりました。

② 中国

中国における油圧ショベルの需要は、減速感を伴う厳しい状況で推移いたしました。売上高は26億8千8百万円（前年同期比73.6%）となり、セグメント利益（営業利益）は2億8千2百万円（前年同期比63.2%）となりました。

主要品目別の業績を示すと、次のとおりであります。

① 建設用クレーン

国内では東日本において、小型機種を中心に回復傾向がみられますものの、海外では依然として力強さに欠ける、厳しい状況にて推移いたしました。売上高は66億5千8百万円（前年同期比151.7%）となりました。

② 油圧ショベル等

国内においては、東日本大震災からの復興需要もあり、堅調に推移いたしました。中国およびその他の海外地域においては、依然として停滞した厳しい状況が続いております。売上高は54億4千1百万円（前年同期比81.2%）となりました。

③ 路面清掃車等

路面清掃車等につきましては、売上高9千4百万円（前年同期比135.8%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(資産の状況)

総資産は、前連結会計年度末の 861 億 7 千 6 百万円に比べ、22 億 3 千 8 百万円 (2.6%) 減少し、839 億 3 千 8 百万円となりました。これは、主として現預金の減少 7 億 2 百万円と、受取手形・売掛金の減少 13 億 8 千万円によるものであります。

(負債の状況)

負債合計は、前連結会計年度末の 532 億 2 千 8 百万円に比べ、14 億 6 千万円 (2.7%) 減少し、517 億 6 千 8 百万円となりました。これは、短期・長期借入金が 4 億 6 千 2 百万円増加しましたものの、支払手形・買掛金が 21 億 5 千 4 百万円減少したことが主な要因であります。

(純資産の状況)

純資産は、前連結会計年度末の 329 億 4 千 7 百万円に比べ、7 億 7 千 8 百万円 (2.4%) 減少し、321 億 6 千 9 百万円となりました。これは、四半期純損失 1 億 8 千 6 百万円と、配当金の支払い 2 億 9 千 3 百万円ならびに、その他の包括利益の減少 2 億 9 千 8 百万円の減少要因によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、国内においては建設用クレーンならびに、油圧ショベルに、震災復興による需要が見込めますことから、堅調に推移するものと思われまます。一方、中国における油圧ショベル需要は、減速感を伴う厳しい状況にて推移するものと思われまます。

通期の業績見通しにつきましては、連結売上高 67,000 百万円、連結営業利益 4,100 百万円、連結経常利益 4,100 百万円、連結当期純利益 2,700 百万円を予定いたしております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第 1 四半期連結会計期間より、平成 24 年 4 月 1 日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第 1 四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失にあたる影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,858	13,155
受取手形及び売掛金	37,150	35,769
たな卸資産	22,466	22,693
繰延税金資産	1,111	970
その他	966	585
貸倒引当金	△790	△765
流動資産合計	74,762	72,409
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,522	3,460
機械装置及び運搬具(純額)	1,172	1,094
土地	2,744	2,744
建設仮勘定	499	577
その他(純額)	174	172
有形固定資産合計	8,112	8,049
無形固定資産	110	100
投資その他の資産		
投資有価証券	1,448	1,428
破産更生債権等	1,069	1,043
繰延税金資産	538	746
その他	1,204	1,203
貸倒引当金	△1,069	△1,043
投資その他の資産合計	3,191	3,378
固定資産合計	11,413	11,528
資産合計	86,176	83,938

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,588	18,433
短期借入金	9,605	10,115
1年内返済予定の長期借入金	4,215	4,428
未払法人税等	147	41
割賦販売前受利息	1,340	1,242
賞与引当金	446	231
製品保証引当金	298	214
その他	722	1,466
流動負債合計	37,363	36,173
固定負債		
長期借入金	14,535	14,274
退職給付引当金	730	721
役員退職慰労引当金	595	594
その他	4	4
固定負債合計	15,865	15,595
負債合計	53,228	51,768
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,935	2,935
資本剰余金	7,109	7,109
利益剰余金	22,848	22,369
自己株式	△25	△25
株主資本合計	32,868	32,388
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42	30
為替換算調整勘定	37	△249
その他の包括利益累計額合計	79	△218
純資産合計	32,947	32,169
負債純資産合計	86,176	83,938

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	11,156	12,194
売上原価	9,615	11,060
売上総利益	1,541	1,134
販売費及び一般管理費	1,235	1,264
営業利益又は営業損失(△)	305	△130
営業外収益		
受取利息	2	7
割賦販売受取利息	142	136
受取配当金	6	6
持分法による投資利益	0	—
製品保証引当金戻入額	—	83
その他	31	34
営業外収益合計	183	268
営業外費用		
支払利息	99	115
持分法による投資損失	—	1
為替差損	70	269
その他	1	0
営業外費用合計	171	386
経常利益又は経常損失(△)	317	△248
特別利益		
固定資産売却益	—	11
特別利益合計	—	11
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	24	0
特別損失合計	24	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	292	△237
法人税、住民税及び事業税	56	12
法人税等調整額	△23	△62
法人税等合計	33	△50
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	259	△186
四半期純利益又は四半期純損失(△)	259	△186

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	259	△186
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△10
為替換算調整勘定	△97	△287
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△96	△298
四半期包括利益	162	△484
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	162	△484
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	中国	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	7,501	3,654	11,156	—	11,156
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,797	—	1,797	△1,797	—
計	9,298	3,654	12,953	△1,797	11,156
セグメント利益又は損失(△)	△192	447	254	50	305

(注) 1 セグメント利益の調整額には主としてセグメント間未実現利益消去50百万円が含まれております。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	中国	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	9,505	2,688	12,194	—	12,194
セグメント間の内部売上高 又は振替高	666	—	666	△666	—
計	10,172	2,688	12,861	△666	12,194
セグメント利益又は損失(△)	△409	282	△127	△2	△130

(注) 1 セグメント利益の調整額には主としてセグメント間未実現利益消去△2百万円が含まれております。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。